

F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DA3188G

ダイアボンドDA3188Gは、皮膜の透明なコンタクト形合成ゴム系の接着剤で、糸切れが良く、発泡の少ないタイプです。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 皮膜は透明で、透明、淡色材料の接着に適します。
3. 糸切れが良く、発泡が少ないです。
4. 皮膜が柔軟で、広範な材料に接着が可能です。

§ 用途

1. 透明プラスチック板，フィルムの接着
(ただし、フッ素樹脂，ナイロン，シリコン樹脂，ポリエチレンなどには接着しません。また、スチレンフォームは侵しますので使用しないで下さい。)
2. スピーカなど電気部品の組立
3. 透明性を必要とする箇所の接着
(ただし、はみ出し部などで、経時後、黄色が目立つ場合があります。)
4. その他 繊維，皮革，木材，紙，ゴムの接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分	スチレンブタジエンゴム
外観	淡黄色透明
不揮発分 (%)	39 ± 2
粘度 (mPa·s) at20°C	4,000 ~ 6,500
指触乾燥時間 (分) at20°C	3 ~ 5
粘着保持時間 (分) at20°C	10 ~ 15
保証期間 (月) at25°C	12
引火点 (°C)	-17
発火点 (°C)	260

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 刷毛などで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は、片面当り 150~200 g/m² (両面で 300~400 g/m²) 塗布して下さい。
3. はり合せ 常温にて 5~15 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. はく離接着強さ

(N/25mm)

		鋼板/Can	ABS/Al	CR/TM
常 態	1 時間	28	35	12
	24 時間	52	45	22
	48 時間	70	58	30
	96 時間	82	73	39
熱老化	70℃×96 時間	105	100	78
耐 熱	80℃	10	9	7
耐 寒	-20℃	88	84	42

Can : 綿帆布

ABS : ABS 板

Al : アルミニウム板

CR : クロロプレンゴム

TM : アクリル塗装鋼板

試験方法 : JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	65 ~ 70 °C
3 日 目	70 ~ 80 °C
10 日 目	80 ~ 90 °C

試験方法 : JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。